

# ボランティアガイド活動中 ホームページ更新中



五月一九日に開催した平成二五年度総会は、三五名の会員が出席し、無事に終えることができた。平成一九年に創設した坂本城を考える会は、現在二百名を超える会員となった。

## 第七回総会を終えて 活動を継続していきます

# 坂本城

を考える会  
会報

発行責任者 天田省三  
大津市下阪本  
5丁目10-6

七年目を迎え、僅かづつでも活動を継続していることへの天田省三会長の挨拶があった。引き続き梶原幹事の司会で総会が進行され、今年度の事業計画が決定された。総会終了後は、大津市埋蔵文化財調査センター・松浦俊和所長による「大津の水城―坂本・大津・膳所」の記念講演があった。

●平成二四年度事業報告  
○城址を中心とした観光ガイドと案内看板の設置

○「光秀と坂本城」の紙芝居を作成し、下阪本文化祭などで実演

○滋賀県や坂本観光協会が支援した団体へのガイド

○城址公園での清掃活動、会員研修日帰り旅行、広報活動など

■平成二五年度事業活動

●城址を中心とし

### 【探訪】まぼろしの坂本城と石積みの門前町坂本をゆく

【12月16日(日)開催】  
朝明堂・石仏 → 坂本城跡 → 明神堂 → 酒井神社  
早者は京阪石坂線松ノ馬場駅および行します。

主催：坂本城を考える会 後援：坂本観光協会

## 坂本城址公園の清掃活動に参加を

坂本城を考える会では、坂本城址公園の清掃活動を続けており、公園利用者にすっきり気持ちよくなったと喜ばれています。

とき 11月16日(土)  
9時～11時

ところ 大津市下阪本「坂本城址公園」

持ち物  
軍手など  
服装  
作業ができる服装



●従来事業の継続  
会報の発行、公園の清掃作業、文化祭への参加、会員研修日帰り旅行、広報活動

●折衝活動の継続  
城址石垣の活用

■平成二四年度収支報告と平成二五年度収支予算は省略する。

■平成二五年度の役員  
会長・天田省三 副会長・河村益孝 事務局長・梶原大義 会計・渡辺豊 幹事・藤本一也・恒岡善博・成宮律子・奥村多栄子・山岡周天 会計監査・並木益雄 (記・山岡)





# 観光案内看板ができる。

## 坂本城を考える会 会計 渡辺 豊

平成十九年の会設立当初から、天田会長の構想にあった観光案内看板が、報道関係者も集まる中、平成二十五年三月に完成した。

この地域には、坂本城に関する観光客への案内看板等が皆無であり、天田会長は是非とも設置したいとの、熱い想いがあった。会が設置するのは筋違いではない

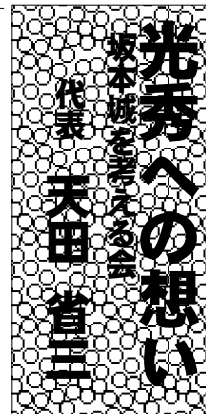
か、との意見もあったが、大津市のパワーアップ事業の後押しもあり、実現した。

当初は東南寺前への設置を検討したが、諸般の事情で頓挫し、坂本城址公園への設置となった。それからが大変で、城址公園は県が所管しており、許可を得るのに一苦労。役員をはじめ歴史博物館の先生、大津市

関係、業者等の協力を得て、年度末ぎりぎり完成した。製作は(株)ニシオカである。完成後は、ボランティアガイドの説明にも対応し

ている。遠来の観光客も徐々に増え、旅人を温かく迎える、大津市市民憲章にも寄与している。

坂本城址公園へお出かけ下さい。お待ちしております。



今夏の気候は異常気象に見舞われて、全国各地で大きな被害が発生しました。当地は幸いにも大きな被害には至らず何よりでした。

坂本城を考える会も去る三月に、念願の観光案内看板を、大津市の支援も受け、設置することができました。大きな成果であったと自負しています。

月例役員会で、地元文化祭への参加(一月三日)や清掃活動(一月一六日)、研修旅行(十一月八日)も決まり、各担当役員はそれぞれご苦労様です。

現在、長岡京市を中心として、ガラシヤ夫人のNH

K大河ドラマ化運動を積極的に取り組んでおられます。

当地はガラシヤの少女時代を過ごした場所でもあります。

いずれは放映されることは間違いありません。楽しみにしたいと存じております。当地を訪ねる観光客も増えてきました。役員仲間でもガイドを買って出しています。光秀公に対する親近感は確実に増えていると痛感している昨今です。

例年、十一月の文化の日を中心に関催される下阪本学区文化祭に「坂本城を考える会」として、活動の概要の展示等を行ってきまし

## 文化祭で紙芝居上演 大好評！拍手！拍手！

下阪本学区文化祭 11月3日～4日

光秀と坂本城



## 文化祭で紙芝居上演 本年もやりますよ！

た。本年度も十一月二日、三日に出展する段取りを進めています。すでにホームページでも紹介しましたが、昨年度の様子をお知らせしましょう。：「2階の和室で紙芝居をしていますよ。子ども

さんは、景品をもらえますよ！」 会場の

入り口でチラシを配布しながらの呼び込み。展示会場では、会員手作りの「坂本城と光秀」の紙芝居が上演されています。傍



らの机の上には、4枚の折り紙で作った色とりどりの「独楽や箸袋などが。さらに、キャラメルの小箱も。紙芝居は、簡潔に12の場面にまとめ、光秀の人となりや業績がわかりやすく説明出来るように工夫しています。

1日に4回の上演を予定し、2日間にわたりに天田会長を始め会員が交代で演じました。ところが、観客が集まるとその都度する事になり、大人も子どもも初めての試みに、目を輝かせて見入っていました。

また折り紙は、作り方も教えたので、興味を示し、長い間いくつも折り続けた子どもさんもありました。「昨日来たけどおもしろかったので今日も来た」と、2日間来てくれた子供もいました。

本年度も楽しいブースとなるよう、展示や紙芝居の上演の仕方を工夫し、地域の皆さんに坂本城や本会の活動を、より一層身近に感じて頂けるよう準備をしています

本年度も楽しいブースとなるよう、展示や紙芝居の上演の仕方を工夫し、地域の皆さんに坂本城や本会の活動を、より一層身近に感じて頂けるよう準備をしています

本年度も楽しいブースとなるよう、展示や紙芝居の上演の仕方を工夫し、地域の皆さんに坂本城や本会の活動を、より一層身近に感じて頂けるよう準備をしています

**坂本城はどつな事務局長 榎原大義**

坂本城は築城後約一〇年で焼け落ち、すぐに再建されたが、その後大津城へ移転

1571年(元龜二年) 明智光秀が織田信長の命により、坂本に築城

1580年(天正八年) 明智光秀が坂本の城を普請(改築)

1582年(天正一〇年) 明智光秀敗死、明智秀満が城に籠るも、坂本城は焼失

1582年(天正一〇年) 丹羽長秀が坂本城を再建

1585年(天正十三年) 杉原家次が坂本城主

浅野長政(長吉)が棄城し、大津城へ移転

その後約十五年で、大津城は焼失・棄城され膳所城へ移転、膳所城は約二七〇年間存在したが、明治時代になり取り壊された。

1595年(文禄四年) 京極高次が大津城主

1600年(慶長五年) 西軍の攻撃により大津城焼失

1601年(慶長六年) 膳所城、築城 戸田一西が初代城主

1651年(慶安二年) 本多俊次が膳所城主

1662年(寛文二年) 膳所地震により倒壊

1870年(明治三年) 膳所城取り壊し

坂本城が大津城へ移されたとき、両城がごく近くであること、極めて短期間で移築されたこと、両者の縄張りが極めて似ていること、また下阪本の跡地に石垣などを含め坂本城の遺構がほとんど残っていないことなどを考えると、石垣を含む坂本城の資材のほとんどすべてがそのまま大津城へ移され、築城に用いられたこ

とが推定できる(坂本城の遺構としては、琵琶湖水面下の石垣・胴木及び一部の移築された聖衆来迎寺の表門がある)。

大津城が膳所城へ移されたとき、坂本城→大津城の時と同様に、大津城の資材のうち、多分石垣などを含めて、その多くは膳所城へ移されたが、一部は膳所城以外へ移された可能性がある(大津城の天守は彦根城へ移築とされる)。

膳所城が取り壊されたとき、扉などその資材の一部は膳所城の中に残されているが、一部は寺院・神社などに移されている(膳所城の門は若宮神社表門へ移築などとされる)。

このことから、現在までに残されている坂本城そのものの遺構は、①下阪本の



聖衆来迎寺表門

湖岸に残された石垣と胴木、②聖衆来迎寺に移築された城門の二つが知られているが、他に③坂本城→大津城→彦根城へと移築された天、④坂本城→大津城→膳所城と移築され、現在も膳所城に残る石垣などの遺構、⑤膳所城取り壊しの後に移築された若宮神社の表門などに坂本城の遺構が残されている可能性がある。